

ひょうご子どもの読書活動推進計画(第4次)概要

[令和2年度～令和5年度]

基本方針

読書を通じて、豊かな心を育む

～本への関心を高め、読書習慣の定着を図る～

現状

- 本を読む子どもの割合は依然低い(小・中・高とも全国平均を下回る)
- 家庭での絵本の読み聞かせ等の時間の減少(家庭により差が大きくなっている)
- スマートフォンの普及等による読書環境への影響

取組の方向性

- 子どもの発達段階に応じた“本に出会い、触れる機会の充実”[不易]
- 子どもの読書活動を支える人材育成及び環境整備[不易]
- 新しい時代への対応[流行]
 - ・ICT技術の進展や出版形態の多様化に伴う読書環境の変化への対応
 - ・子どもが集まる図書館づくりへの移行の促進、ICT環境への対応

家庭・地域・学校における読書活動の推進

家庭

- ◆家庭での読書の習慣付けの重要性の理解促進
- ◆家庭における読書活動の実践
 - ・保護者による絵本、物語の読み聞かせ
 - ・家読(うちどく)
- ◆県・市・町における家庭への支援
 - ・ブックスタート(乳幼児検診時の読み聞かせ等)の実施
 - ・家族で利用しやすい公立図書館の環境づくり

地域

- 【公立図書館】
- ◆子どもの読書活動を推進するための機能強化
 - ・中高生コーナーの設置、司書の資質向上
 - ◆学校、学校図書館との連携
 - ・団体貸出、移動図書館
 - ◆読書活動を推進するための情報発信
 - ・広報誌、SNS等による普及啓発、お話会

【社会教育関係団体等】

 - ◆読み聞かせの実施等の積極的な展開
 - ◆多様な関係団体との連携
 - ・ボランティア団体、PTA等
 - ◆人材育成・資質向上
 - ・研修の実施

学校等

【幼稚園・保育所等】

- ◆絵本や物語に親しむ活動
 - ・教育要領等に基づく、環境整備
- ◆家庭・地域との連携
 - ・保護者への啓発、保護者向け講座

【小学校・中学校】

- ◆読書習慣の定着・指導の充実
 - ・言語活動の充実、教科学習との連携
 - ・探究型授業の実施
- ◆家庭・地域との連携
 - ・保護者への啓発、保護者向け講座
 - ・図書選定

【高等学校】

- ◆読書習慣の定着・指導の充実
 - ・本の薦め合い、ビブリオバトル等の実施
- ◆家庭・地域との連携
 - ・図書館コーナー運営への参画
- ◆読解力向上のための読書活動の研究
 - ・リーディングスキルテストの活用

【配慮が必要な児童生徒への支援】

- ◆豊かな読書活動のための整備
 - ・視聴覚機器等の活用
 - ・多言語による資料の充実

【学校図書館の機能強化・人材育成】

- ◆計画的な整備・充実
 - ・ICT環境の充実によるメディアセンター化
 - ・授業改善に資する運営
- ◆学校司書の研修等の実施

子どもの読書活動に関する支援体制の充実

- 子どもの読書活動を推進するための全県的な取組の推進
- ◆「子ども読書の日」や読書週間を中心とした啓発活動の推進
 - ◆市町の子ども読書活動推進計画
 - ◆読書活動の普及啓発に向けた取組の実施及び交流
 - ◆優れた取組の奨励

各種推進団体の支援

【幼稚園・保育所等】

- ◆社会教育関係団体の役割
- ◆県内大学との連携強化

発達段階に応じた本に触れる機会の創出

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期から発達段階に応じた読書活動が行われることが大切です。

家庭・地域・学校は、発達段階ごとの特徴を踏まえて連携を図る必要があります。

幼稚園・保育所等の時期(概ね6歳頃まで)

- *周りの大人から言葉を掛けたり、子どもなりの言葉を聞いてもらったりしながら、次第に言葉を獲得します。
- *絵本や物語を読んでもらうこと等を通して、絵本や物語に興味を示すようになります。
- *様々な体験を通じて、イメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになります。

主な取組例 ブックスタート 読み聞かせ



ブックスタート(小野市)
乳幼児期の「本との出会い」が大切です

小学生の時期(概ね6歳から12歳まで)

1・2年生(低学年)

- *読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになります。
- *語彙の量が増えるので、文字で表された場面や情景をイメージするようになります。

3・4年生(中学年)

- *最後まで本を読み通すことができると、自分の考え方と比較して読むことができるようになります。
- *読む速度が速くなり、多くの本を読むようになります。

5・6年生(高学年)

- *本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになります。
- *好みの本の傾向が現れます。
- *読書の幅が広がり始めます。

主な取組例 読み聞かせ・一斉読書 授業での活用 ビブリオバトル



読書スタンプラリー
(加西市立九会小学校)

中学生の時期(概ね12歳から15歳まで)

- *共感したり、感動したりできる本を選んで読むようになります。
- *自分の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとします。

主な取組例 一斉読書・授業での活用 ビブリオバトル



校内ビブリオバトル
(加古川東高等学校)

高校生の時期(概ね15歳から18歳まで)

- *読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができます。
- *知的興味に応じて、一層幅広く多様な読書ができるようになります。
- *友人等と本を紹介したり、批評したりするなどの「対話的な読書」は、他者の価値観や考えを知り、自分自身の考え方を見つめ、深めることにつながります。

主な取組例 一斉読書・授業での活用 ビブリオバトル



幼稚園での読み聞かせ(豊岡総合高等学校)

読書活動を通じた校種間の連携

～校種間の連携による、切れ目ない取組が重要です～

- *小中高の教員連絡会を開き、講演会・研修会等を進めています。
- *幼稚園児と1年生が一緒に読書を行ったり、幼稚園に児童生徒が出向き、読み聞かせを行ったりしています。
- *公立図書館で、高校生が企画するイベントに小中学生が参加しています。

取組例